

もりや仙一郎便り

県政報告 Vol.62



空き家対策が急務

今年度、私の所属する常任委員会は「建設常任委員会」です。委員会質問で、県に対して空き家の現状、対策についてうかがったところ、県内全域の空き家は22200戸(天童市は400戸)存在しているようです。

空き家の原因は核家族化による農村集落部の過疎化、維持修繕の放棄など様々です。空き家は近隣住民の迷惑になるばかりでなく、犯罪にも利用される危険性があります。景観上も良くありません。朽ちかけた空き家といえども他人の資産ですので、持ち主を探し、了解を得るまで簡単に用件が進むわけにはいきません。今回、県内で空き家対策の好事例を残している鶴岡市を視察しました。



NPO法人つるおかランドバンクの阿部俊夫理事長に説明を受ける

民間の力で解体、整地

行政が空き家対策事業に携わった場合、地権者に対して解体や修繕を求める協議が再優先です。一方、鶴岡市の場合は宅地建物取引業協会、建設業協会、司法書士会、建築士会などのプロが組織する「NPO法人つるおかランドバンク」で空き家対策に対応しています。同組織は連携して解体まで手続きし、費用は更地を売却した収益を充てます。更地になれば、隣接の住民や不動産屋が買い、土地が再生します。

この一連の事業を組織内でスムーズに一本化するランドバンクは全国からの反響も多く、立ち上げに尽力した代表の阿部俊夫理事長は講演会などでその効果を説明しております。

この事業は眠っている土地を掘り起こし、有効活用しますので、不動産、解体業者、ハウスメーカーなどの繁盛にもなります。行政には、ランドバンク同様の仕組みづくりの音頭を取る必要があります。



空き家を解体して道幅を広くする

中学校再編 待望の新校舎誕生



グラウンドに隣接して野球場の建設も予定

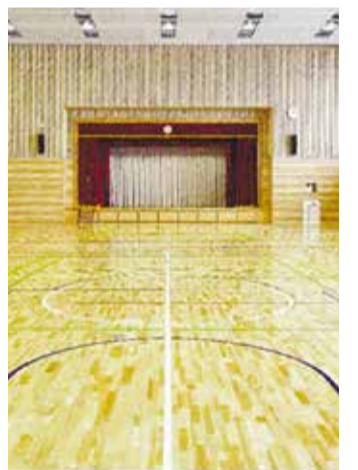
総工費52億円 高島中学校

高島町(人口約2万4千人)は町内にある4つの中学校を閉校し、今年4月から1校に統合した新校舎(生徒数679名)の供用を開始しました。人工芝のグラウンド(サッカー場)に全天候型陸上競技場トラックを併設する。高島町では10年ほど前から中学校の閉校、再編計画がはじまりました。その後、平成20年に1校への統合計画が打ち出されると「地区から子どもの姿が消えていきま



関係者に話を聞く

りました。その後、現新校舎の案が示されると「高島町」の町議らから猛反発を受けました。しかし、地区の説明会が300回ほどに達したところ、廃校になった地区の生徒に「のびのびと学校生活を送ってほしい」「利便性の良い施設で学業に励んでほしい」という行政の思いが徐々に浸透していきま



大体育館

校内給食、農家と連携 地場産の食材を提供



校内にある調理室

高島中学校は校内の調理施設で約700人分の給食を毎日用意しています。注目すべきは食材を地域の農家から仕入れている点です。10数軒の農家が「高島中学校自給野菜組合」を組織し、野菜や山菜、果物を納入しています。高島は元々「有機栽培」が盛んな町。安心安全な食材を地元の方から仕入れる取り組みは非常に感心いたします。高齢の農家に集荷にも伺っていると聞き驚きました。

フル規格 奥羽・羽越新幹線実現に向けて 山形県内で同盟会設立

山形県にフル規格の新幹線を整備するための同盟会が設立されました。これは国に対してフル規格新幹線を期待する県民総意の想いを表していることを意味します。議会では「沿線住民の声をしっかりと聞くべき」「既存の奥羽沿線駅の停車はなくなるが、それでよいのか」などの意見が示されていますが、私も議会選出の理事になりましたので、慎重に意見、考えを述べてまいります。新幹線は地方活性化につながります。しかし、人口減少のなか、大きな借金を残すことも大変な責任があります。



もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3 丁目 4-17

もりや仙一郎

検索

ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。 QRコードでアクセス

